

Life・Culture & Welfare 地域から発信 福祉を文化へ

# 焼津福文共通信第62号

「焼津福祉文化共創研究会」事務局

〒425-0044 焼津市石津向町 15-17

百の木デイサービス石津内

Tel.: 054-623-3665 Fax.: 054-656-3731

編集委員 望月隆仁 河野恵介 原崎洋一 原崎幸子 平田厚

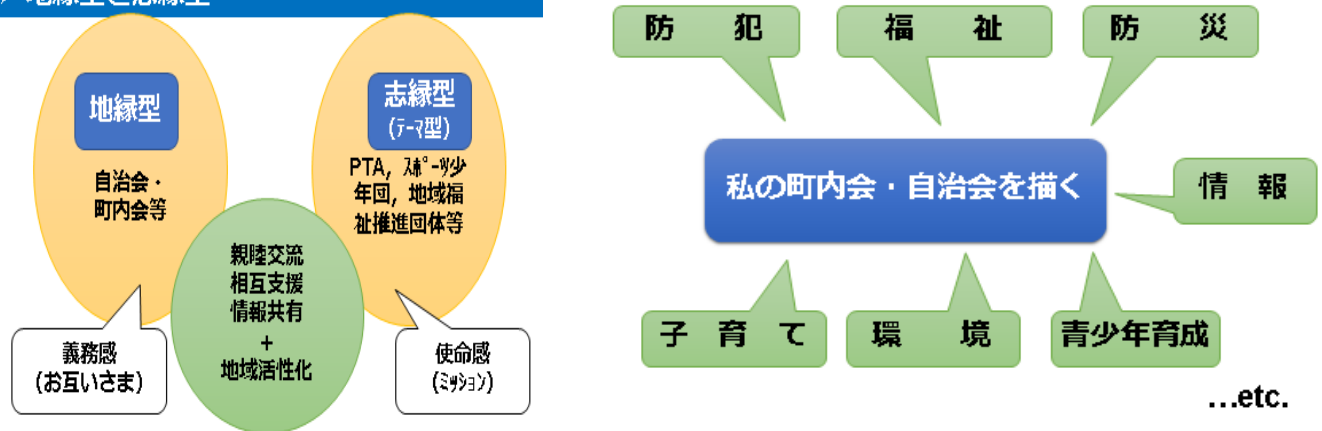
## 本会の今年度の活動テーマ「5年間の活動を検証する」取り組み 9月「“ご近所福祉”を語る①」から、町内会・自治会を描いてみる

前号(2024.9.1発行・第61号)の「8月定例研究会の内容紹介」に引き続き、今回は、9月7日の9月定例研究会(第66回)における議論の概要を取り上げる。

- ①区画整理事業が完了後における、管内の大きな課題の一つとして「側溝清掃作業」がある。これからの取り組みは、個々の世帯の責任の範囲で取り組む作業ではなく、長期計画に基づき、コミュニティ組織運営全般の中で、重要な作業として位置づけていきたい。
- ②コミュニティ組織は、継続的な組織・運営力と、調整機能力を共有していきたい。そのためにも、コミュニティ組織・運営の引き継ぎを確実にし、基本的規範をしっかりと理解しルール化していきたい。
- ③今こそ、各種地域行事による「地域力」の復活を期待したい。そのためには、組織や運営内容を常に「広報啓発活動」の重要性を維持し、「見える化」「わかる化」し、地域住民の参画を呼び掛けたい。
- ④公共施設の維持管理は、住民主体に柔軟性の工夫をしていきたい。

これまでに、町内会・自治会役員を経験した会員の立場から、ここでは「町内会・自治会機能」を描いてみる。「地縁組織」(義務感:お互い様)としての町内会・自治会は、管内のさまざまな「志縁組織」(使命感)と、地域の課題を改善・解決していくために、『協働』による取り組みの働きかけの工夫を期待したい。

### ▶ 地縁型と志縁型



### ●町内会・自治会を描いてみると：

その地域に生活する住民が、気軽につき合い、日頃から、必要な情報を共有し、安全・安心でより快適な生活を維持するために、自主的・主体的に活動に参加することを目的とする。

これまでの町内会・自治会活動を振り返ると、下記のようないくつかの「機能」を有していると感じる。

1. 問題解決機能  
福祉、防火・防災、交通安全、防犯・非行防止、青少年育成、消費者問題、資源回収、生活改善などの地域の問題解決に関する活動
2. 生活充実機能  
伝統行事(祭礼)、体育・文化行事など、地域の人々とのふれあい交流と親睦の促進に関する活動
3. 環境・施設維持機能  
環境美化、清掃、衛生、そして、公会堂(集会所)などの施設整備・維持管理に関する活動
4. 情報(広報)共有機能
5. 行政・関係団体等との連絡調整機能
6. その他総合的機能

## 共創社会実現研究会経過報告 ⑥

「ご近所福祉の検証」を、本会と協働で取り組んでいる「静岡福祉文化を考える会」が、今年度「赤い羽根共同募金地域福祉支援活動(広域団体)助成事業:若者発ご近所福祉かるたによるご近所福祉検証事業」に取り組むに当たり設置した「共創社会実現研究会」の取り組みを紹介する。

今回(第6回目)は、9月7日開催した「第6回共創社会実現研究会」協議内容の概要を紹介する。

1. 「若者発 ご近所福祉かるた増刷(100セット)」は、すでに納品済み。郵便料金値上げ前に、配布提供計画に基づき、発送が終わるように、「レターパック」に、配布提供先ラベルシール貼り、かるた保管ビニール袋に表示作業が終わり、「かるた活用事例集」が納品次第、9月末までに完了を目指す。
2. 「かるた活用事例集」(A4版、40P、本文カラー印刷 200部)発行については、「発行企画書」に基づき作業に取り組んでいる。「第5章 紹介します 各世代・領域の活用事例」は、漫画家 法月理栄様に、「19点の作画」の協力をお願いし、ご理解をいただき、8月8日に具体的な協議を実施した。その後、8月16日までに、19点の作画データをいただき、各事例箇所に組み入れる。「完全原稿」で、9月2日入稿完了することが出来た。
3. 関係団体等に事業の進捗状況報告
4. 今後の「共創社会実現研究会」開催予定は、第7回(11/9) 第8回(12/14)
5. 事業報告会予定 11月30日 2月22日の2回開催予定
6. 「OUR LIFE154号」で、「赤い羽根助成事業」の取り組みを関係方面に発信

### 焼津福祉文化共創研究会事務局日誌拝見(9/1~10/12)



研究会QRコード



考える会QRコード

- 9/01 「焼津福文共創研究会通信第61号」編集・発行、配布及びメール送信
- 9/07 「9月(第66回)定例研究会」「第6回共創社会実現研究会」開催  
本日 ブログアクセス件数 1,475件
- 9/11 協働団体:静岡福祉文化を考える会・赤い羽根助成事業「かるた」及び「かるた活用事例集」を配布提供計画に基づき発送作業開始(~9/21)
- 9/18 協働団体:静岡福祉文化を考える会赤い羽根助成事業に関して、
  - ・県共同募金会へ事業経過報告
  - ・かるた活用事例集のブログアップ作業準備
  - ・関係機関・団体等へ「かるた活用事例集」送付作業継続
- 9/21 「今年度コミュニティカレッジ」で、「本会6年の活動検証」を事例紹介
- 10/ 1 焼津福祉文化共創研究会通信第62号」編集・発行 配布及びメール配信
- 10/12 10月(第67回)定例研究会開催



### シリーズ⑥ 若者発 ご近所福祉かるたで学ぶ

このコーナーでは、平成27年度・令和3年度に、協働団体:静岡福祉文化を考える会が、赤い羽根共同募金地域福祉広域助成事業により、世代を超えて身近な地域社会を学ぶ、地域福祉教育教材として作成した「若者発 ご近所福祉かるた」を本誌第57号から「シリーズ」で紹介。今回は「こ」「さ」

\*問い合わせは、事務局まで



悩みを話せるご近所さんがいると、問題解決が可能です。体験を語り合い「子育て支援」。



地域には、悩みを持った人・孤独な人がいます。長生きの秘訣は、地域の「仲間づくり」から始めましょう。